

2月は少し寒い日々が続きましたが、最近少し暖かくなり心地よい気候になってきました。皆様如何お過ごしでしょうか。

2月23日にJICA主催による ABE イニシアチブの帰国生報告会が、そして24日には JOCV40 周年記念事業が開催されました。

ABE イニシアチブとは、セネガル人のビジネスマンを日本の企業等に受け入れて研修をさせて技術・ノウハウを習得させると同時に日本企業との関係構築を目指すプロジェクトです。このプロジェクトの意義は大変重要で、これまで本使が当地でお会いしたセネガル進出を考えている日本企業の多くはこの計画で知り合ったセネガル人と協力して事業を進めようとしています。日本ではセネガルのビジネス関連情報は乏しく、また、セネガルは仏語圏なので日本企業にとっては言語上のハンディがあることから、日本企業の進出にとってセネガル人の支援は大変貴重です。ABE イニシアチブはこれまで10年続いていてセネガル人経験者も増えています(71名)。これからはOB達をネットワーク化する等して経験者との効率的連携の確保が重要です。JICAがネットワークを進めていますので大使館は側面支援をしていきます。

JOCV はセネガルにおいて活動を始めてから 40 年以上にもなります。皆様ご存じの通り協力隊員はセネガル各所で地元に住み、地元住民とともに暮らして協力事業を進めます。途上国ですから隊員の方々も多くの苦労があるでしょうが、若さと気力でそれを乗り越えて活動を続けてきました。その意味で我が国の経済協力の顔であり、セネガル人からは高い評価と感謝が示されています。今回の記念事業ではセネガルにおける協力隊の活動の歴史が振り返られ、とても感動的な話もありました。そして現在セネガルで活躍している7名の協力隊員が元気な姿を見せてくれて、大変頼もしく思いました。コロナにより一時隊員が全員セネガルから引き上げましたが、JICA によれば行く行くは 50 名以上の隊員がセネガルに来ることになるそうです。楽しみです。

3月2日、3日にはセネガル北部を訪問し、日本のカゴメ社が栽培しているトマトの畑と JICA の進めている稲作技術向上プロジェクトの視察をしました。

サンルイから北の地域はセネガル河の恩恵で緑が広がり、灌漑用水が満々として、水の国日本で育った日本人としてほっとする風景が広がっています。セネガル河はきれいな水を満々と蓄えて緑色に輝き、水辺にはペリカン鳥も群集し、美しい光景に癒されました。

カゴメ社の畑では成熟しかかったトマトが実っていて収穫を待つだけでした。今年も豊作だそうです。森田さんを初め栽培従事者の努力がこうした美しいトマトに実ってよかったと思います。また、JICAの進める稲作技術向上計画が実施されている田んぼは広大で、収穫後で稲はありませんでしたが、この広大な土地に稲穂が育つ光景はさぞ壮観だろうと思いました。ここでも日本を感じました。

カゴメ社のトマト栽培もJICAの米作事業も地元の村人達から大きく感謝されていました。ひとえに日本人関係者たちが地元に入り、寝食を共にして村人たちを共に働き、そして村人たちの生活の向上を真摯に支えてきた、そうした献身の賜物だと思いました。先に述べた JOCV の方々も同様ですが、日本の経済協力や投資は地元の人々と密接に協力しながら地元の生活の向上を目指していますが、その良い例をここでも見ることができました。大変良い視察でした。

この週末は、ダカール駅において、京都精華大学の先生が教師となってマンガワークショップが開かれました。セネガルでは日本のマンガやアニメが人気があり、本使としてはこのマンガ・アニメ人気は日本とセネガルの関係強化に大きな役割を果たすことになるだろうと考えています。土曜日と日曜日に開催されたワークショップでは、幼稚園児から大学生まで、アニメ好きなセネガル人が集まり、熱心に作画に取り組んでいました。慣れない万年筆や筆ペンの扱いに苦労していましたが、それでも自分の作品を仕上げようとする子供達の熱意、真剣な表情が印象的でした。日曜日にはサーール経済大臣もご子息連れで来られてワークショップを楽しまれていました。因みに大臣のお嬢様はアニメライターで当館の SNS でも表紙を描いて頂いています。

本年5月に日本のアニメや漫画といったポップカルチャーを紹介するイベントが予定されています。今回のワークショップに参加したセネガル人の子供達の熱気を見て、この5月のイベントの成功を確信しました。

今回のメルマガでは名古屋を拠点に活動するジャロウ駐日ガンビア名誉総領事の寄稿を載せています。ジャロウさんは長年にわたり日本に在住するセネガル等のアフリカ人達の世話をしています。本使も先般の帰国の際に名古屋の彼女の事務所兼アフリカ料理店を訪問しました。この手記を読むと来日当時は大変ご苦労されたようですが、それでもその後日本とアフリカのために尽力されてきました。頭が下がる思いです。彼女の経営するアフリカ料理店には JOCV 等でセネガル等で働いたことのある日本人がアフリカ料理を懐かしがって食べに来るそうです。皆様も機会があれば是非訪問してみてください。

今週は天皇誕生日レセプションを開きます。コロナも沈静化しましたので以前のように300名程のお客さま招待します。レセプションではこれからの日セネガル関係の展望を皆様にお伝えしたいと思います。